

# 第1章 第2期データヘルス計画の中間評価について

## 1. 第2期データヘルス計画策定について

静岡県後期高齢者医療広域連合では、高齢者の心身の特性に応じ、健康教育、健康相談、健康診査及び保健指導等、被保険者の主体的な健康の保持増進のために、生活習慣病等の重症化予防や低栄養、運動機能、認知機能の低下など、フレイルの予防に必要な事業を実施している。

第2期データヘルス計画では、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、第1期データヘルス計画（平成27年度）での事業内容を見直し、関係市町と連携・協力して保健事業の実効性を高めていくことが重要となる。

## 2. 中間評価の目的と方法

第2期データヘルス計画の計画期間は、平成30年度から令和5年度の6年間としており、広域連合が実施主体となっている保健事業について、これまでの3年間の取組み状況を踏まえ、目標の達成状況や取組みに関する評価を実施し、評価結果を踏まえ、第3期データヘルス計画を見据えた次年度以降における、保健事業の更なる取組みに反映させていく。

また、中間評価の実施に当たっては、KDBシステム等を活用し、あらためて必要な健康・医療情報等の分析・評価を行い、健康課題の掘り出しや目標の見直しを行うこととする。

## 3. 指標の評価方法

中間評価にあたっては、以下の4つの視点により各指標の評価を実施する。

- データヘルス計画に位置づけている個別保健事業の目標と実績の比較。
- PDCAサイクルに基づく保健事業が展開されているかの検証。
- ストラクチャー、プロセス、アウトプット、アウトカムの4つの視点で評価。
- 自己評価のみならず、第三者の視点による評価。

これらの視点に基づき、各事業の達成状況を以下に示す5段階で評価する。

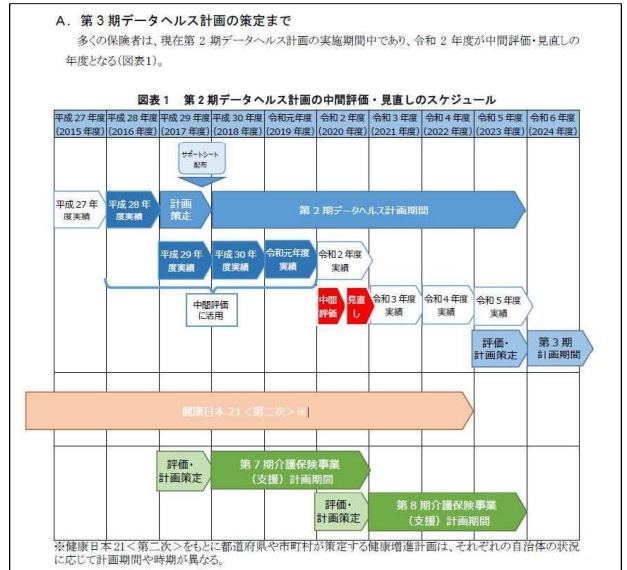
- S：目標達成
- A：計画どおり
- B：横ばい
- C：悪化している
- D：評価不可（項目追加を含む）

## 4. 目標の再設定が必要な指標及び新たに追加する事業について

以下の指標については、目標値の見直しや設定の追加を行う。

- 現時点で既に最終評価時の目標を達成した指標
- 計画策定時（平成30年3月）以降に広域連合が実施した保健事業

## 5. 第3期データヘルス計画策定までのスケジュール



# 第2章 静岡県後期高齢者医療広域連合の現状

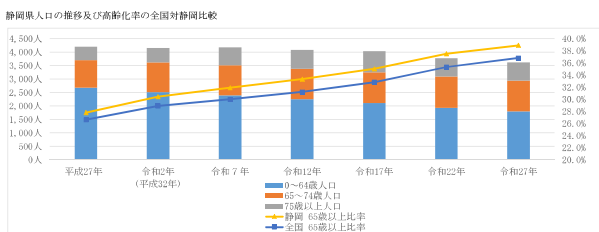
## 1. 保険者の基本情報

(1) 人口と高齢化率の推移  
人口と高齢化率の推移を示す。高齢化率は全国平均よりやや高く推移する予想となっている。

静岡県の人口と高齢化率の推移(5年ごと)

区分	人口			高齢化率			
	総人口 (千人)	65歳以上 (千人)	75歳以上 (千人)	静岡県		全国	
				65歳以上	75歳以上	65歳以上	75歳以上
平成27年	3,700	1,029	497	27.80%	13.40%	26.60%	12.80%
令和2年 (平成32年)	3,616	1,100	573	30.40%	15.90%	28.90%	14.90%
令和7年	3,506	1,119	666	31.90%	19.00%	30.00%	17.80%
令和12年	3,389	1,125	700	33.30%	20.70%	31.20%	19.20%
令和17年	3,242	1,134	692	35.00%	21.30%	32.80%	19.60%
令和22年	3,094	1,161	681	37.50%	22.00%	35.30%	20.20%
令和27年	2,943	1,143	683	38.90%	23.20%	36.80%	21.40%

出典：国立社会保険・人口研究所「都道府県別13項目推計結果の概要（平成30年推計）」  
※平成27(2015)年の国勢調査を基に推計



静岡県の令和元年度における、65歳以上の人口構成を男女・年齢階層別に示す。

男女・年齢階層別 高齢者人口構成概要(令和元年度)

年齢階層	男性				女性			
	静岡県		全国		静岡県		全国	
	人口(人)	割合	人口(人)	割合	人口(人)	割合	人口(人)	割合
65歳~69歳	142,019	31.7%	4,659,662	30.5%	148,774	26.0%	4,984,205	26.3%
70歳~74歳	112,053	25.0%	3,582,440	23.4%	124,637	21.8%	4,113,371	21.7%
75歳~79歳	86,824	19.3%	3,582,440	23.4%	104,878	18.3%	3,489,439	18.4%
80歳~84歳	61,187	13.6%	1,994,326	13.1%	89,193	15.6%	2,967,094	15.6%
85歳~89歳	33,606	7.5%	1,056,641	6.9%	62,832	11.0%	2,060,616	10.9%
90歳~94歳	10,626	2.4%	333,335	2.2%	31,480	5.5%	1,015,785	5.4%
95歳~99歳	2,064	0.5%	63,265	0.4%	9,195	1.6%	296,082	1.6%
100歳~	284	0.1%	8,383	0.1%	1,571	0.3%	53,380	0.3%
合計	448,723		15,280,492		672,860		18,979,972	

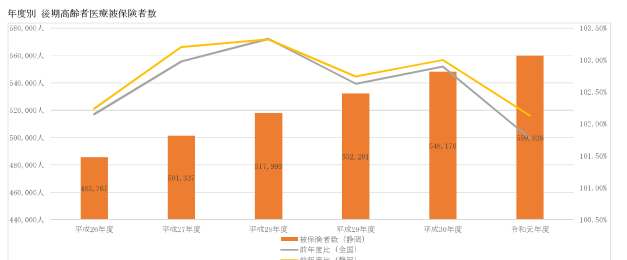
出典：国保データベース（国保）システム「地域の全体像の把握」  
※「国勢調査人口等基本集計（総務省統計局）」を使用している。

静岡県の平均被保険者数と伸び率を示す。  
静岡県は全国より高い水準で被保険者数が増加している傾向にある。

年度別 後期高齢者医療 被保険者数 (人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
被保険者数(全国)	15,767,282	16,236,810	16,777,798	17,218,881	17,718,119	18,031,652
被保険者数(静岡)	485,767	501,337	517,989	532,201	548,170	558,838
前年度比(全国)	102.15%	102.98%	103.33%	102.63%	102.90%	101.72%
前年度比(静岡)	102.24%	103.21%	103.32%	102.74%	103.00%	102.18%

出典：厚生労働省「後期高齢者医療事業状況報告」（年報：確報）  
※年度とは当該年の3月から翌年の2月までの期間をいう。

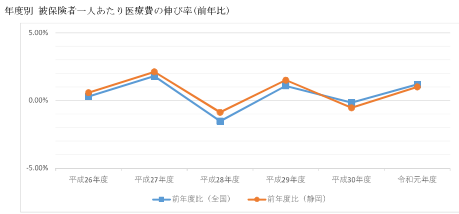
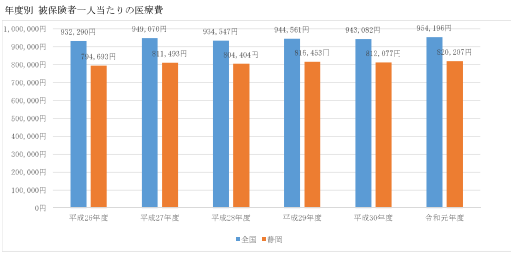


(2) 医療費の状況

静岡県後期高齢者医療広域連合の平成30年度医療基盤情報を以下に示す。静岡県被保険者の一人当たりの医療費と伸び率を示す。静岡県は全国と比較して被保険者一人当たりの医療費は低い。

被保険者一人当たりの医療費と伸び率 (円)
年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 令和元年度
一人当たり医療費(全国) 932,290 949,070 934,547 944,561 943,082 954,196

出典:厚生労働省「後期高齢者医療事業報告書」年度毎年度とは当該年の3月から翌年の2月までの期間をいう。



2. 基礎統計

(1) 年度・市町別被保険者数

静岡県後期高齢者医療広域連合の被保険者数を年度・市町別別に示す。

年度・市町別被保険者数 (人)
年度 市町名 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 令和元年度
1 静岡市 98,449 101,949 104,838 108,195 110,298

出典:国保データベース(KDB)システム「市町別別データ」(2020/10/28時点のデータ)
※算出方法が厚生労働省「後期高齢者医療事業報告書」と異なるため他統計と一致しない。
※全国における被保険者数の算出方法は以下のとおりである。
次の1、2、3のいずれかを満たす全被保険者を集計
右の基準月から資格取得 -> 基準月: 社会保険庁処理年月-2ヵ月
1) 資格取得年月日 < 基準月の1日 < 資格喪失年月日
2) 資格取得年月日 < 基準月の1日 < 資格喪失年月日 = null
3) 基準月の1日 < 資格取得年月日 < 基準月の末日かつ 資格取得年月日 < 資格喪失年月日

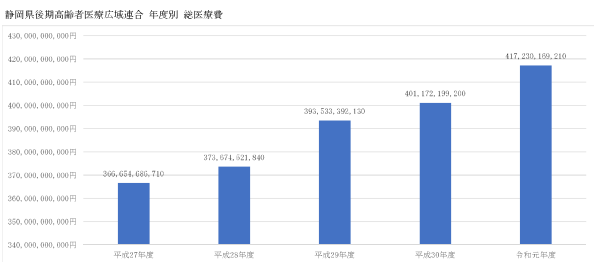
(2) 年度別医療費の推移

静岡県後期高齢者医療広域連合における年度別総医療費と一人あたり医療費、総レセプト件数と一件当たりの医療費を以下に示す。

年度別医療費の推移
年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度 平成30年度 令和元年度
被保険者数(人) 504,150 520,979 535,313 551,398 562,988
総医療費(円) 366,654,686,710 373,674,521,840 393,533,392,130 401,172,199,200 417,230,169,210

出典:国保データベース(KDB)システム「市町別別データ」(2020/10/28時点のデータ)
※総医療費とは医療における入院、外来、調剤を合わせた医療費である。
※一件当たりの医療費は総医療費を総レセプト件数で算出している。

※一件当たりの医療費(外来): 医療外来レセプトの総点数 × 10 ÷ 被保険者数
※一件当たりの医療費(入院): 医療入院レセプトの総点数 × 10 ÷ 被保険者数
※一件当たりの医療費(調剤): 医療調剤レセプトの総点数 × 10 ÷ 被保険者数
※一件当たりの医療費(総合): 医療総合レセプトの総点数 × 10 ÷ 被保険者数
※一件当たりの医療費(その他): 医療その他レセプトの総点数 × 10 ÷ 被保険者数



(3) 大分類による疾病別医療費統計

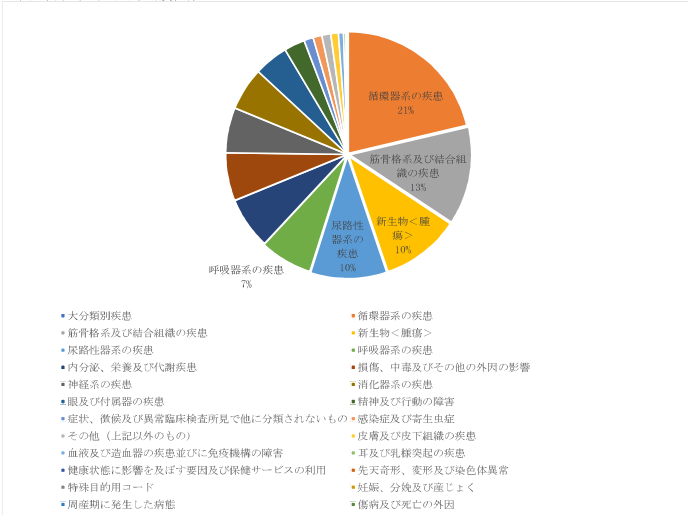
令和元年度における疾病項目ごとの医療費総計を以下に示す。「循環器系の疾患」が医療費合計の21.3%、「筋骨格系及び結合組織の疾患」は医療費合計の13.0%と高い割合を占めている。

大分類による疾病別医療費統計 ※項目の上位5疾病を網かけ表示する。
平成30年度 令和元年度
疾病別医療費(円) 構成比 順位 疾病別医療費(円) 構成比 順位
感染症及び寄生虫症 5,340,379,570 1.3% 12 5,024,472,550 1.2% 13

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(2)大、中、細小分類」(2020/10/28時点のデータ)
※疾病別医療費(内外合計)は、疾病別医療費の入院区分と外来区分を合計している。

疾病項目別医療費割合は、循環器系の疾患、筋骨格及び結合組織の疾患、新生物(腫瘍)、腎尿路生殖系系の疾患の医療費で過半数を占める。

令和元年度 疾病項目別医療費割合



#### (4) 中分類による疾病別医療費統計

令和元年度における医科レセプトより、入院、外来及びその総計における医療費を疾病中分類毎に集計し、各項目の上位10疾病を以下に示す。

令和元年度 中分類による医療費上位10疾病(入院+外来)

順位	中分類別疾患	疾病別医療費(入院+外来) (円)	医療費(入院+外来)総計に占める割合
1	その他の心疾患	37,377,569,520	8.98%
2	腎不全	32,989,127,710	7.93%
3	骨折	20,617,780,190	4.95%
4	その他の悪性新生物<腫瘍>	20,211,474,450	4.86%
5	糖尿病	17,536,669,580	4.21%
6	高血圧性疾患	15,968,539,680	3.84%
7	脳梗塞	13,909,824,600	3.34%
8	その他の消化器系の疾患	13,678,748,410	3.29%
9	骨の密度及び構造の障害	13,612,340,760	3.27%
10	その他の眼及び付属器の疾患	13,089,354,540	3.15%

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(2)大、中、細小分類」(2020/10/28時点のデータ)

令和元年度 中分類による医療費上位10疾病(入院のみ)

順位	中分類別疾患	疾病別医療費(入院) (円)	医療費(入院)総計に占める割合
1	骨折	19,245,922,530	9.96%
2	その他の心疾患	18,526,989,690	9.58%
3	脳梗塞	11,809,705,180	6.11%
4	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	11,157,365,490	5.77%
5	その他の呼吸器系の疾患	9,944,551,840	5.14%
6	腎不全	8,971,658,800	4.64%
7	その他の悪性新生物<腫瘍>	8,145,444,720	4.21%
8	その他の消化器系の疾患	6,294,159,540	3.26%
9	肺炎	6,146,003,460	3.18%
10	虚血性心疾患	5,737,509,800	2.97%

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(2)大、中、細小分類」(2020/10/28時点のデータ)

令和元年度 中分類による医療費上位10疾病(外来のみ)

順位	中分類別疾患	疾病別医療費(外来) (円)	医療費(外来)総計に占める割合
1	腎不全	24,017,468,910	10.78%
2	その他の心疾患	18,850,579,830	8.46%
3	糖尿病	16,262,153,940	7.30%
4	高血圧性疾患	15,396,451,160	6.91%
5	その他の悪性新生物<腫瘍>	12,066,029,730	5.42%
6	その他の眼及び付属器の疾患	11,792,617,750	5.29%
7	骨の密度及び構造の障害	10,378,234,420	4.66%
8	脂質異常症	8,649,556,650	3.88%
9	その他の消化器系の疾患	7,384,588,870	3.31%
10	アルツハイマー病	6,920,468,570	3.11%

出典:国保データベース(KDB)システム「医療費分析(2)大、中、細小分類」(2020/10/28時点のデータ)

### 3. 介護保険の状況

#### (1) 年度別認定者数・認定数

年度別介護保険認定者数及び認定率を年度別に示す。

令和元年度の認定者数は181,548人であり、平成28年度と比較して10,838人増加している。

1号認定率は減少傾向にあり、令和元年度の1号認定率は17.2%であり、平成28年度と比較して1.3%減少している。

年度別認定者数

区分	年度	認定者数(人)		計(人)
		1号	2号	
後期高齢者医療広域連合	平成28年	166,112	4,598	170,710
	平成29年	169,031	4,509	173,540
	平成30年	174,530	4,522	179,052
	令和元年	177,069	4,479	181,548

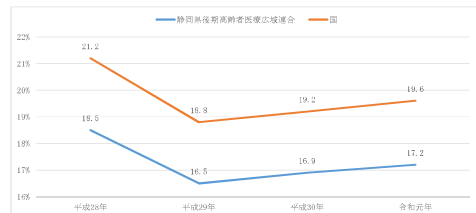
出典:国保データベース(KDB)システム「要介護(支援)者認定状況」

年度別認定率

区分	年度	1号認定率 (%)	2号認定率 (%)
		平成28年	18.5
後期高齢者医療広域連合	平成29年	16.5	0.4
	平成30年	16.9	0.4
	令和元年	17.2	0.4
	平成28年	21.2	0.4
国	平成29年	18.8	0.4
	平成30年	19.2	0.4
	令和元年	19.6	0.4
	平成28年	15.5	0.4

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別介護保険1号認定率



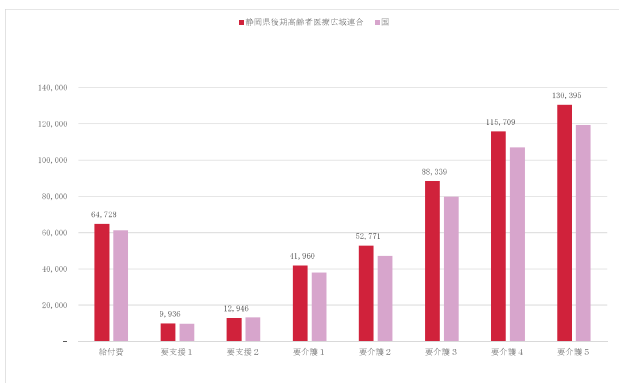
(2) 介護給付費の状況

静岡県後期高齢者医療広域連合の令和元年度における、介護度別給付費の状況を以下に示す。  
静岡県は国と比較して1件当たりの介護度別給付費が高い傾向にある。

1件当たり要介護度別給付費(円) 令和元年度累計

	静岡県後期高齢者医療広域連合	国
給付費	64,728	61,336
要支援1	9,936	9,825
要支援2	12,946	13,241
要介護1	41,960	37,931
要介護2	52,771	47,085
要介護3	88,339	79,808
要介護4	115,709	106,950
要介護5	130,395	119,410

出典：国保データベース（KDB）システム 「地域の全体像の把握」



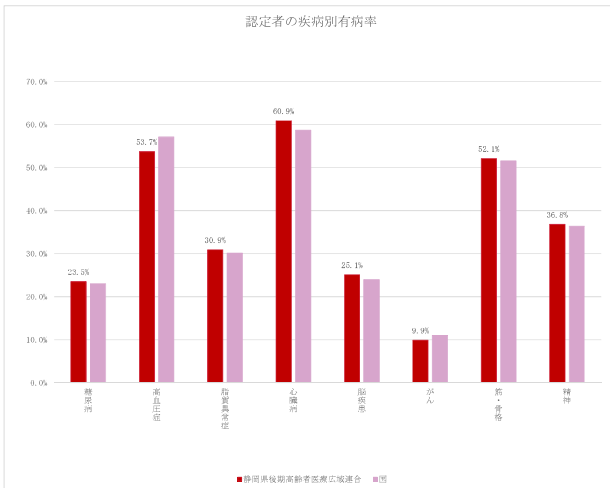
(3) 認定者の疾患別有病率

広域連合の令和元年度における、認定者数の疾患別有病率を以下に示す。  
疾患別のある有病率を国と広域連合で比較すると、同様の傾向がみられ、心臓病の割合が最も高い。

認定者の疾患別有病率(令和元年度)

	有病状況	静岡県後期高齢者医療広域連合	順位	国	順位
有病率 (%)	糖尿病	23.5%	7	23.0%	7
	高血圧症	53.7%	2	57.1%	2
	脂質異常症	30.9%	5	30.1%	5
	心臓病	60.9%	1	58.7%	1
	脳疾患	25.1%	6	24.0%	6
	がん	9.9%	8	11.0%	8
	筋・骨格	52.1%	3	51.6%	3
	精神	36.8%	4	36.4%	4

出典：国保データベース（KDB）システム 「地域の全体像の把握」



広域連合と国の認定者数の疾患別有病率を年度別に示す。

脳疾患に関しては減少しているが、その他の疾病については増加傾向にある。

年度別 認定者の疾患別有病状況

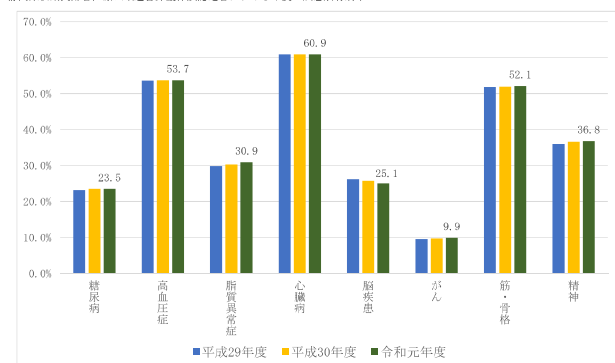
有病率 (%)	疾病項目	静岡県後期高齢者医療広域連合			
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
有病率 (%)	糖尿病	22.9	23.2	23.5	23.5
	高血圧症	53.3	53.6	53.7	53.7
	脂質異常症	29.4	29.8	30.3	30.9
	心臓病	60.7	60.9	60.9	60.9
	脳疾患	26.6	26.2	25.7	25.1
	がん	9.4	9.6	9.8	9.9
	筋・骨格	51.4	51.8	51.9	52.1
	精神	35.8	36.0	36.6	36.8

出典：国保データベース（KDB）システム 「地域の全体像の把握」

有病率 (%)	疾病項目	国			
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
有病率 (%)	糖尿病	22.1	22.2	22.4	23.0
	高血圧症	50.9	50.8	50.8	51.7
	脂質異常症	28.4	28.7	29.2	30.1
	心臓病	58.0	57.8	57.8	58.7
	脳疾患	25.5	24.9	24.3	24.0
	がん	10.3	10.4	10.7	11.0
	筋・骨格	50.3	50.4	50.6	51.6
	精神	35.2	35.5	35.8	36.4

出典：国保データベース（KDB）システム 「地域の全体像の把握」

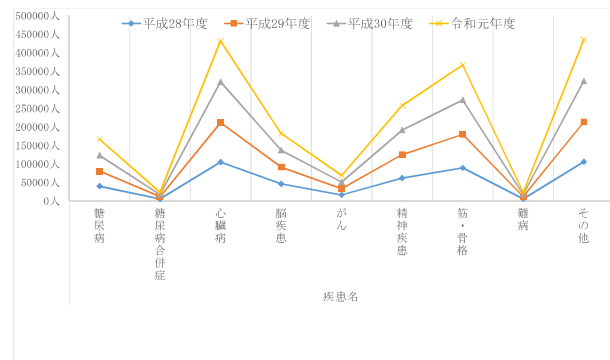
静岡県後期高齢者医療広域連合介護保険認定者における年度・疾患別有病率



年度別 認定者の疾病別有病者数(1号、2号合計)

実人数 (人)	疾病項目	静岡県後期高齢者医療広域連合			
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実人数 (人)	糖尿病	39,913	40,814	42,347	42,500
	糖尿病合併症	5,639	5,841	5,915	5,908
	心臓病	105,096	106,743	109,456	110,604
	脳疾患	45,945	45,450	45,779	44,997
	がん	16,437	16,870	17,615	17,959
	精神疾患	61,940	63,236	66,126	66,581
	筋・骨格	89,175	90,518	93,213	94,309
	難病	5,766	5,969	6,003	6,110
	その他	105,854	107,300	110,554	111,438

出典：国保データベース（KDB）システム 「要介護(支援)者認定状況」



### 第3章 各事業における中間評価について

1. 各事業の目的と達成度（下記は概要的な内容）  
 2. 各事業の進捗状況（下記は概要的な内容）

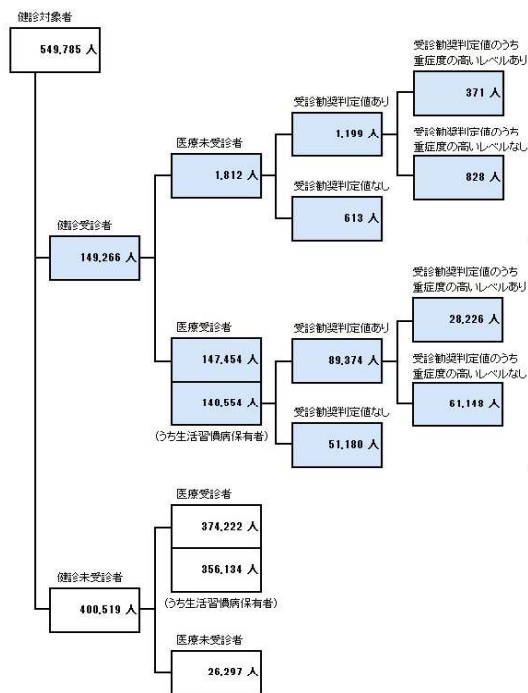
事業名	事業内容（概要）		事業の進捗状況（概要）	
	事業目的	事業内容	達成状況	達成率
1. 健康診査・健康相談事業	健康診査による健康状態の把握と健康増進事業の実施	健康診査の実施と健康相談の実施	健康診査の実施率と健康相談の実施率	健康診査の実施率 95.0% 健康相談の実施率 98.0%
2. 健康増進事業	健康増進のための健康講座や健康相談の実施	健康増進のための健康講座や健康相談の実施	健康増進のための健康講座や健康相談の実施率	健康増進のための健康講座や健康相談の実施率 95.0%
3. がん検診事業	がん検診の実施によるがんの早期発見と予防	がん検診の実施	がん検診の実施率	がん検診の実施率 95.0%
4. がん予防事業	がん予防のための健康講座や健康相談の実施	がん予防のための健康講座や健康相談の実施	がん予防のための健康講座や健康相談の実施率	がん予防のための健康講座や健康相談の実施率 95.0%
5. がん検診受診率向上事業	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率 95.0%
6. がん検診受診率向上事業	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率 95.0%
7. がん検診受診率向上事業	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率 95.0%
8. がん検診受診率向上事業	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率 95.0%
9. がん検診受診率向上事業	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率 95.0%
10. がん検診受診率向上事業	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率 95.0%
11. がん検診受診率向上事業	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率 95.0%

### 3. 第3期データヘルス改善事業中間評価結果（表10）

事業名	事業内容（概要）		事業の進捗状況（概要）	
	事業目的	事業内容	達成状況	達成率
1. がん検診受診率向上事業	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率 95.0%
2. がん検診受診率向上事業	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率 95.0%
3. がん検診受診率向上事業	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率 95.0%
4. がん検診受診率向上事業	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率 95.0%
5. がん検診受診率向上事業	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率 95.0%
6. がん検診受診率向上事業	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率 95.0%
7. がん検診受診率向上事業	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率 95.0%
8. がん検診受診率向上事業	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率 95.0%
9. がん検診受診率向上事業	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率 95.0%
10. がん検診受診率向上事業	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率 95.0%
11. がん検診受診率向上事業	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率	がん検診受診率向上のための健康講座や健康相談の実施率 95.0%

### 第4章 保健事業に係る分析結果

#### 1. 健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析 令和元年度における健診対象者の内訳を以下に示す。



出典：国民データベース（KDB）システム「後期高齢者の健診・医療・介護状況」（2020/10/28時点のデータ）

#### 因子、判定値ごとの人数、および、健診受診者に対する割合

項目	○は前年比 単位:人/件					
	血糖	血圧	脂質	肝機能	貧血	腎機能
医療未受診者	1,016人 56.1% (-1.4)	659人 26.4% (-1.5)	628人 24.3% (1.1)	1,254人 85.2% (0.2)	1,536人 88.1% (1.2)	1,094人 58.2% (-0.5)
保健康指導判定値未満	56人 (5.5%)	24人 (3.6%)	24人 (3.8%)	89人 (7.1%)	92人 (6.0%)	93人 (8.5%)
保健康指導判定値以上 ～受診勧奨判定値未満	401人 (39.5%)	244人 (36.5%)	288人 (45.6%)	125人 (10.3%)	89人 (6.0%)	345人 (31.2%)
受診勧奨判定値以上	39人 (3.8%)	39.2人 (5.8%)	36.6人 (5.6%)	1.8人 (0.1%)	3.0人 (0.2%)	7.2人 (0.7%)
※参考 受診勧奨判定値のうち重症度の高いレベル	39人 (3.8%) 2.1人 (0.2%)	234人 (35.1%) 12.4人 (1.8%)	113人 (17.4%) 6.2人 (0.9%)	0人 (0.0%) 0.0人 (0.0%)	4人 (0.3%) 0.2人 (0.0%)	38人 (3.5%) 2.1人 (0.2%)

項目	○は前年比 単位:人/件					
	血糖	血圧	脂質	肝機能	貧血	腎機能
医療受診者のうち生活習慣病保有者	56,167人 47.1% (-1.1)	56,733人 41.8% (0.6)	67,353人 47.9% (0.2)	113,532人 80.8% (0.2)	109,465人 77.9% (0.2)	62,464人 44.4% (-0.1)
保健康指導判定値未満	42人 (0.8%)	27人 (0.4%)	30人 (0.4%)	155人 (1.4%)	142人 (1.0%)	367人 (2.6%)
保健康指導判定値以上 ～受診勧奨判定値未満	60,298人 (59.2%)	38,241人 (54.0%)	43,466人 (63.2%)	21,934人 (19.5%)	19,727人 (14.2%)	81,593人 (58.7%)
受診勧奨判定値以上	14,089人 (13.9%)	43,480人 (60.5%)	29,735人 (43.1%)	5,088人 (4.5%)	11,279人 (8.1%)	26,567人 (19.2%)
※参考 受診勧奨判定値のうち重症度の高いレベル	4,318人 (4.2%) 3.5人 (0.1%)	3,222人 (4.5%) 21.4人 (0.1%)	2,940人 (4.2%) 2.9人 (0.0%)	431人 (3.8%) 0.3人 (0.0%)	1,015人 (7.3%) 0.7人 (0.0%)	12,532人 (9.1%) 3.0人 (0.0%)

項目	判定値
受診勧奨判定値のうち重症度の高いレベル	空腹時血糖 ≧140mg/d HbA1c ≧7.0%(平成24年度受診時) ≧7.4%(平成25年度以降受診時)
血糖	随時血糖(食後3.5時間以上) ≧140mg/d
血圧	収縮期血圧 ≧160mmHg 拡張期血圧 ≧100mmHg
脂質	LDL ≧110mg/d 中性脂肪 ≧500mg/d non-HDL ≧210mg/d
肝機能	γ-GTP ≧101IU/L AST ≧30IU/L ALT ≧30IU/L
貧血	男性 10.1g/dL 女性 9.1g/dL
腎機能	血清クレアチニン ≧1.5mg/dL
尿酸	≧6.0mg/dL

出典：国民データベース（KDB）システム「後期高齢者の健診・医療・介護状況」（2020/10/28時点のデータ）





(3) 歯科健診と医療費

年度別総歯科医療費を以下に示す。年々、総歯科医療費は入院・入院外ともに増加している。

年度	歯科入院	歯科入院外	合計
平成27年度	175,272,150	11,635,085,990	11,810,358,140
平成28年度	185,135,850	12,515,067,160	12,700,203,010
平成29年度	219,169,500	13,195,731,330	13,414,900,830
平成30年度	263,041,140	13,981,755,510	14,244,796,650
令和元年度	255,648,830	14,908,039,970	15,163,688,800

出典：ネトシステム 医療費データ (後期)

※ネトシステムにおける集計方法は以下のとおりである。

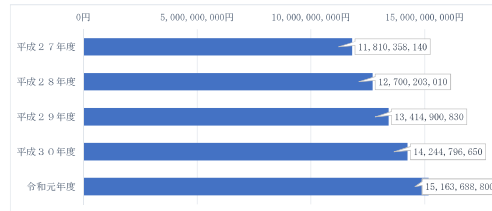
年度：処理年度に6月～4月で集計

被保険者数：選択した年々に資格を有する方の人数

歯科医療費：歯科レセプトに記載されている「決定点数」×10円

歯科医療費合計は歯科入院費用と歯科入院外費用の合計である。

年度別 総歯科医療費(入院・入院外合計)



次に年度別一人当たり歯科医療費を以下に示す。一人当たり歯科医療費も増加傾向となっている。

年度	歯科入院	歯科入院外	歯科合計
平成27年度	353	23,458	23,811
平成28年度	361	24,415	24,776
平成29年度	415	24,984	25,399
平成30年度	484	25,752	26,237
令和元年度	458	26,723	27,181

出典：ネトシステム 医療費データ (後期)

※ネトシステムにおける集計方法は以下のとおりである。

一人当たり医療費 = 「費用額」 / 「被保険者数」

4. 人工透析に係る分析

人口透析患者数の分析を行った。年度別人工透析患者数、医療圏別の人工透析患者数が以下である。静岡県後期高齢者医療広域連合全体における人工透析患者数は年々増加している。

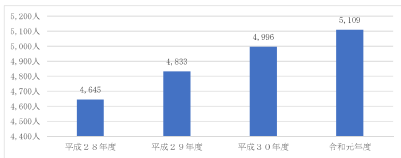
年度	人工透析患者数(人)
平成28年度	4,645
平成29年度	4,833
平成30年度	4,996
令和元年度	5,109

出典：国保データベース1006「市区町村別データ」

※集計の方法は以下のとおりである。

人工透析と判定したレセプトを持つ被保険者を集計(県新報は、直近月の値を出力)

年度別 静岡県後期高齢者医療広域連合 人工透析患者数



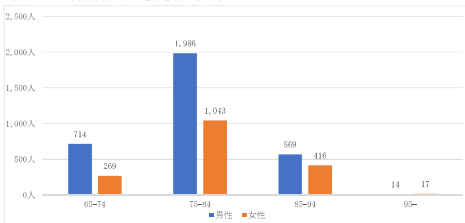
静岡県後期高齢者医療広域連合における性別・年齢階層別人工透析患者数の月平均値を示した表が以下である。男性の人数が65～84歳年齢区分において女性よりも多い。年齢が上がるとその傾向は縮小し、95歳以上では女性の数の方が多くなる。

年齢区分においては男女ともに75～84歳の人工透析患者数が最も多い。

年齢区分(歳)	男性	女性
65-74	714	269
75-84	1,986	1,043
85-94	569	416
95-	14	17

出典：国保データベース1006「市区町村別データ」

令和元年度 性別・年齢階層別人工透析患者月平均数



5. 後発医薬品普及率に係る分析

年度別・市町別後発医薬品普及率を以下に示す。

市町名	数量シェア				令和元年度順位
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
1 静岡市	62.2%	66.2%	71.5%	74.6%	24
2 浜松市	66.6%	69.3%	74.3%	77.1%	17
3 沼津市	65.3%	68.4%	73.3%	76.4%	18
4 熱海市	58.0%	60.2%	65.3%	68.0%	33
5 三島市	68.7%	70.8%	75.3%	78.5%	8
6 富士宮市	65.0%	69.3%	74.8%	77.4%	13
7 伊東市	55.0%	59.5%	64.7%	69.2%	31
8 島田市	66.2%	70.0%	74.8%	77.7%	11
9 富士市	60.7%	64.1%	69.6%	72.6%	27
10 磐田市	67.3%	70.7%	76.5%	79.8%	6
11 焼津市	69.1%	71.7%	76.2%	78.3%	9
12 掛川市	68.8%	72.9%	77.5%	80.1%	4
13 藤枝市	62.8%	66.2%	72.1%	76.0%	20
14 御殿場市	53.0%	56.1%	63.2%	67.6%	34
15 袋井市	63.4%	67.1%	72.0%	75.3%	22
16 下田市	65.3%	67.2%	73.7%	76.2%	19
17 裾野市	56.3%	60.7%	68.8%	73.4%	26
18 湖西市	70.2%	73.1%	77.8%	80.0%	5
19 伊豆市	59.7%	63.7%	68.3%	70.9%	29
20 御前崎市	70.3%	75.2%	82.0%	84.3%	1
21 菊川市	69.3%	73.2%	77.7%	79.8%	6
22 伊豆の国市	53.8%	58.3%	62.7%	65.0%	35
23 牧之原市	64.1%	68.5%	73.7%	77.4%	13
24 東伊豆町	64.2%	66.0%	70.9%	73.9%	25
25 河津町	53.2%	57.5%	64.2%	68.1%	32
26 雨伊豆町	69.1%	71.6%	75.6%	77.3%	16
27 松崎町	64.8%	69.0%	76.2%	77.6%	12
28 西伊豆町	67.7%	71.7%	76.6%	78.3%	9
29 雨南町	66.4%	69.6%	74.1%	76.0%	20
30 清水町	72.1%	75.2%	79.5%	82.2%	3
31 長泉町	66.2%	70.3%	74.8%	77.4%	13
32 小山町	61.8%	64.8%	71.5%	75.0%	23
33 吉田町	55.3%	60.6%	68.3%	72.6%	27
34 川根本町	71.2%	74.8%	81.0%	83.8%	2
35 森町	55.7%	56.8%	61.7%	70.2%	30
広域連合	64.1%	67.4%	72.7%	75.7%	

出典：保険者別統計資料 数量シェア集計表

※数量シェア=後発医薬品の数量/(後発医薬品のある先発医薬品の数量+後発医薬品の数量)

※後発医薬品=先発医薬品と同額又は高額な後発医薬品を除く後発医薬品